

## 心に残る文化財子ども塾 出雲市立平田小学校

### 1. 活動の概要

5月11日（水）の3校時と4校時を利用して、出雲市立平田小学校で大仏パネルづくりを行いました。はじめに、島根の歴史文化にふれてもらうため、荒神谷遺跡の銅剣と加茂岩倉遺跡の銅鐸のレプリカを見せながら青銅器の話をしました。その後、「奈良の大仏の巨大さと、込められた思い」をテーマに、奈良の大仏の実物大パネルを組み立てました。大仏パネルが完成したらみんなで記念撮影を行い、最後に大仏造営当時の様子を、クイズを交えて説明しました。

### 2. 活動の様子



▲床一面に散らばったパネルを並べていきます。チームワークが肝心。



▲完成まであと少し！

### 3. 活動を終えて

#### ① 児童の皆さんから

- ・機会があったら、本物の大仏の大きさや高さを見てみたいと思いました。
- ・もっと大仏のことについて知りたいです。
- ・協力して大仏パネルをつくることができた。
- ・大仏があんなに大きくて、それをつくった昔の人はすごいと思った。
- ・他の大仏の大きさも知りたい。

#### ② 担任の先生から

- ・実際の大仏の大きさを感じることができた。
- ・子どもたちが楽しみながら学習でき、歴史に興味関心を持つことができた。

#### ③ 古代出雲歴史博物館から

大仏の大きさを目の当たりにして、驚きの声があちこちで上がりました。体験を通じて、歴史への興味をもってもらえたのではないかとおもいます。大仏が完成してから、大仏造立にまつわるお話しをしましたが、今後はお話しの部分でイラストを用いるなどして、さらに分かりやすく伝える工夫をしていきたいと思ひます。